

森本司郎二十七回忌追善 ●●●○●

森本松涛会

能「卷絹 神楽留」 他 舞囃子、素謡、仕舞大会



故 森本司郎



能 卷 絹

令和5年  
12月17日(日) 午前9時始

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 ☎092-715-2155

◎ 御入場無料・御来場歓迎

※欠番などがございますと、予定時間が少し早まる場合がございます。お早めにお越しください。

ご挨拶

森本 哲郎



師走の候、皆様方におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。  
この度、父司郎の二十七回忌追善の森本松涛会を、福岡松涛会・長崎松涛会の共催にて催す運びとなりました。

この機に、福岡松涛会の畑中純子さんが能「巻絹」を勤めます。  
その他会員一同、追善会に向けて稽古に励んでおります。  
皆様お誘い合わせの上、ご来場心よりお待ち申し上げます。

番組組

素謡

松風

村雨 加藤 君子  
松風 木村 節子

旅僧 山口 加代子

地謡

多 久 島 法 子  
菊 本 美 貴 子  
今 村 宮 子  
菊 本 澄 子  
木 月 晶 子

独吟

山姥 篠原 力夫

舞囃子

吉野天人

天人 越尾 眞喜子

大 鼓 白 坂 信 行 太 鼓 吉 田 谷 光 次 潔

難波

王仁 山田 眞裕美

大 鼓 白 坂 信 行 太 鼓 吉 田 谷 光 次 潔

地謡

多 久 島 法 子  
菊 本 美 貴 子  
今 村 宮 子  
菊 本 澄 子  
木 月 晶 子

《解説・目安の所要時間》

●まつかぜ(二十五分)  
旅の僧が須磨の浦を訪れる月の美しい夜に二人の海人が汐汲みの車を引き夜景をめでる。二人は旅の僧を宿に泊め、在原行平の愛を受けた姉妹と告げ、舞を舞うが、僧に甲いを頼み、夜明けとともに消える。

●やまんば(五分)  
山姥が現れ、山めぐりの様を見せ、峰を伝い、谷を駆けて姿を消す。

●よしのてんにん(十五分)  
吉野の桜を見に来た都の男の夢に天人が現れ、妙なる袖を返し、美しく舞を舞う。中之舞(ちゆうのまい)という、すべての舞事の基本とされる舞を舞います。

●なにわ(十八分)  
王仁が現れ、舞楽を奉じ、天下泰平を祝福する。神舞(かみまい)という、テンポが速く、力強い舞を舞います。

# 弱法師

素謡

俊徳丸 田島 志保美

高安通俊 井上 泰介

地謡

多 久 島 法 貴 子  
菊 本 美 子  
今 村 宮 子  
木 本 澄 子  
月 晶 子

仕舞

羽

衣

キリ 天人

落合直子

玉

鬘

玉鬘

岩尾麻美

班

女

舞アト 花子

中島裕香

梅

枝

キリ 富士の妻

千歳和範

松

虫

クセ 男の亡霊

町田典橘

杜

若

クセ 杜若の精

山口加代子

船

弁

慶

キリ 平知盛

スウエン・ホルスト

地謡

山 本 麗 晃  
今 村 一 夫  
森 本 哲 郎  
今 村 嘉 太 郎

舞囃子

高

砂

住吉明神

江

本

美和

小鼓 大鼓 幸 坂

正信 行太鼓 吉谷 光潔

邯鄲

盧生

高山

由

美

小鼓 大鼓 幸 坂

正信 行太鼓 吉谷 光潔

地謡

多 久 島 法 貴 子  
菊 本 美 子  
今 村 宮 子  
木 本 澄 子  
月 晶 子

●よろぼし(二十五分)  
盲目の俊徳丸(弱法師)は、布施(食事の施し)を受けるために天王寺へやってくる。そして梅の匂いに気持ちを通わし、美しい景色を心眼に受け止めるが、盲目の悲しさも物語る。最後には父と再会を果たし、共に里に帰る。

●はごろも(三分)  
天人は羽衣を纏い、春景色を愛でながら舞う。

●たまかずら(四分)  
玉鬘の霊が、恋の妄執を物語る。

●はんじよ(三分)  
班女は恋人の扇を胸に抱いて再会を夢見る。

●うめがえ(五分)  
富士の妻の霊の夫への恋慕の舞。

●まつむし(三分)  
男の亡霊が契り浅からぬ友とのエピソードを物語る。

●かきつばた(七分)  
杜若の精が伊勢物語を語る。

●ふなべんけい(五分)  
平知盛の怨霊が長刀を持ち、義経一行に襲い掛かるが、弁慶の祈りに、海に消える。

●たかさご(十八分)  
住吉明神が現れ、力強く舞い、天下泰平を祝福する。神舞(かみまい)というテンポが速く、力強い舞を舞います。

●かんたん(二十三分)  
盧生は夢の中で栄華を味わい、酒宴の舞を舞うが、それはすべて夢の中の出来事であった。楽(がく)という足拍子をたくさん踏む舞を舞います。

# 求

## 塚

前里女 小里女 鬼塚 由紀乃  
 後里女 鬼塚 純江  
旅僧 戸丸 敦子

### 素 謡

井内政徳 多利弘之 山本利章 坂口信男 坂口信男

地謡

# 江

## 口

江口の君

山田伸子

大鼓 飯坂信章

大鼓 行

森田光次

### 舞 囃 子

●えぐち(二十分)

江口の君の霊が現れ、人の世の迷いを悟り舞を舞う。やがて舟は白象となり、西の空へ去る。序之舞という、女体や老体などの役が物静かに舞う舞を舞います。

# 熊

## 坂

熊坂

高田勉

大鼓 飯坂信章

大鼓 行

吉田光次

地謡

山本麗晃 久保誠一 森本哲郎 今村一郎

# 安

## 宅

義経 伊藤留美江(高二)  
 山伏 堀田絵美  
 山伏 鬼塚由紀乃  
 山伏 小林優紀  
 舟慶 森本映子

富樫の従者 野村万緑

地謡

坂口信貴 今村嘉伸 山本章弘 坂口信基

### 素 謡

富樫 松山幸宏

●あたか(四十分)  
 安宅の関で富樫は義経捕縛の命を受けている。義経一行は山伏に変装し、安宅の関に着く。東大寺復興の寄付を募る山伏と偽り、持ち合わせの経巻を勧進帳と名付け読み上げ、一旦通過を許される。しかし、義経が疑われたので、舟慶は金剛杖で義経を打ち据え、事なきを得る。非礼を詫げる富樫の盃を受け、舞を舞い、虎口を逃れる思い出道を急ぐ。  
 義経側の強力、富樫側の従者として狂言方が出演することにより、能に近い雰囲気をお楽しみいただけます。

松

戯之舞

松風

阿武

紀美子

大鼓 小鼓

飯白

富坂

章行

相原

一彦

●まつかぜ(二十分)  
松風の霊は舞を舞い、行平の名を呼んで松の木にすがりついたりなどするが、僧に弔いを頼んで、夜明けとともに消え去る。  
戯之舞(たわむれのまい)では、中之舞の後に、松にかかっている短冊の和歌を詠みあげる型をします。

熊

野

村雨留

熊野

増田

和子

大鼓 小鼓

飯白

富坂

章行

相原

一彦

地謡

井内政一 久保誠一郎 森本哲郎 今村嘉太郎

●ゆや(二十分)  
熊野は平宗盛に老母の重病の為、暇を願うが許されず、しぶしぶ酒宴の舞を舞っている、村雨が振り出し、舞が止まる(村雨留)。それを見た宗盛に許しをもらった熊野は、母の元へと急ぐ。  
中之舞(ちゆうのまい)という、すべての舞事の基本とされる舞を舞います。

融

酌之舞

融大臣

上田

哲則

大鼓 小鼓

幸守

家由

訓太鼓

佳田

森田光次

地謡

山口剛一郎 今村嘉伸 坂口信男 多利男 森本哲郎

●とおる(二十分)  
夜半過ぎに融大臣の霊が現れ、楽し気に舞い、月景色を愛でるうちに明け方となり、融の姿は月世界に向かうかのように消え去る。  
早舞(はやまい)という、公家の霊や女の霊が楽しげに舞う舞を舞います。  
今回は酌之舞(しゃくのまい)という特殊演出にて致します。

仕舞

西王母

西王母

森本

絢子(年長)

鶴亀

皇帝

森本

英太郎(小一)

地謡

鈍落信也 松山幸宏 森本哲郎 中富満城 玉垣瑛

番外仕舞

藤戸

漁師の霊

森本哲郎

地謡

山本麗晃 坂口貴信 坂口信男 今村一夫

●せいおうぼ(二分)  
西王母が喜びの舞を舞い、花も人も酔ううちに、天上へと飛び去る。  
●つるかめ(二分)  
中国の新春の祭事で、鶴と亀の精霊の舞の後、皇帝がめでたく舞い納める。

●ふじと(七分)  
殺害された漁師の霊の恨みの様。  
司郎が生前最後に舞った舞囃子が「藤戸」でした。



舞囃子「藤戸」 森本 司郎 (福岡定期能 於大濠公園 能楽堂)

(時間は多少前後します。お早めにお越しください。)

# 巻

都の男 森 本 恵美子  
巫女 畑 中 純子

## 絹

神楽留

臣下 福 王 茂十郎

大鼓 守 家 正 由 訓 大鼓 相 原 中 一 彦 達

下人 野 村 万 禄

後見 山 本 章 弘 子  
森 本 哲 郎

地謡 山 今 井 山  
口 村 内 本  
剛 嘉 政 麗  
一 太 郎 徳 晃  
馬 多 今 久  
野 久 島 村 保  
正 利 嘉 誠  
基 之 伸 郎

能

# 正

## 尊

静 森 本 絢 子  
義経 玉 垣 瑛  
師和 鈍 落 信 也

正尊 谷 長 敏

弁慶 中 富 満 城

地謡 山 坂 山  
口 本 口 口  
保 信 章 貴 剛  
誠 一 男 弘 信 郎

# 葛

## 城

大和舞

葛城の神 山 田 寿美子

大鼓 守 家 由 訓 大鼓 相 原 中 一 彦 達  
小鼓 飯 富 章 宏 笛 相 原 一 彦

地謡 井 内 政 徳  
森 本 哲 郎  
多 久 島 利 之  
今 村 嘉 伸  
今 村 嘉 太郎

## 舞 囃子

## 仕 舞

鶴 亀 大 野 好 子 (初舞台)

羽 衣 杉 町 尚 美

紅 葉 狩 女 早 田 実

玉 鬘 玉 鬘 橋 本 倫 子

●まきぎぬ(六十五分)

熊野権現に納める巻絹を運ぶ都の男は、途中、音無天神に参詣し一首の和歌を手向ける。しかし、そのために甚だしく遅れたため縛られる。そこへ音無天神が乗り移った巫女が現れ、男の和歌の手向けを喜び、男の縄を解く。巫女は和歌の徳を語り、神楽を舞うが、やがて神がかりの様を現し、平常の巫女に戻るのであった。  
神楽留の小書(特殊演出)が付くと、巫女の衣装が美しく替わり、神楽の最後が激しくなり、より神秘的な演出となる。  
福岡松涛会の畑中純子さんが初めて能のシテ(主役)を勤めます。

●しょうぞん(三十分)

義経を討つべく、鎌倉から正尊がやって来る。弁慶は、正尊の上京理由を尋ねるが、正尊は熊野参詣の為と言いつ張り、起請文を書いて読み上げるので、義経は偽りと知りつつ起請文を誉め、酒宴を設け、静に舞を舞わせもてなして帰す。正尊の討入を察した弁慶達が武装して待つところへ、正尊一行が攻め来るが、一行は討たれ、正尊も生け捕られる。

●かづらき(十八分)

葛城の神が現れ、舞を舞い、夜が明けると自分の姿があらわになるのを恥じて、岩戸の中へ消える。  
大和舞(やまとまい)は、舞が神楽になり、より神秘的な演出となる。

●つるかめ(三分)

中国の新春の祭事で、鶴と亀の精霊の舞の後、皇帝がめでたく舞い納める。

●はごろも(三分)

天人は羽衣を纏い、春景色を愛でながら舞う。

●もみじがり(三分)

美女が紅葉狩の酒宴で美しく舞う。

●たまかずら(四分)

玉鬘の霊が、恋の妄執を物語る。

羽衣 天人 澤田礼子  
夕顔 夕顔上 立石かおる

●はごろも(三分)  
天人は羽衣を纏い、春景色を愛でながら舞う。

●ゆうがお(三分)  
夕顔の霊が現れ、昔を追懐して、舞を舞う。

舞囃子

杜若 杜若の精 作永美由紀 小鼓 飯守富家 大鼓 飯守富家 山本麗晃 馬野正基 森本一郎 今村哲夫

●かきつばた(二十分)  
杜若の精が現れ、伊勢物語の恋物語を舞い、夜明けとともに姿を消す。  
序之舞(じよのまい)という、女体や老体などの役が物静かに舞う舞を舞います。

海士 龍女 石丸邦子 小鼓 飯守富家 大鼓 飯守富家 山本麗晃 馬野正基 森本一郎 今村哲夫

地謡

山馬森久今 口野本保村 剛正哲誠 一郎基郎一郎

●あま(十八分)  
房前大臣の母の霊は成仏を喜び、龍女の姿となつて現れ、経文を唱え舞を舞う。  
早舞(はやまい)という、公家の霊や女の霊が楽しげに舞う舞を舞います。

●かすがりゆうじん(三分)  
龍神が現れ、明恵上人の入唐を止める。

仕舞

春日龍神 龍神 鉦落信也

笠之段 左衛門 玉垣瑛

鞍馬天狗 天狗 中富満城

鶴 鶴 松山幸宏

地謡

山本麗晃 今村哲郎 森本一郎 井内政徳

舞囃子

絵馬 天鈿女命 小林優紀 大鼓 飯守富家 山本麗晃 馬野正基 森本一郎 今村哲夫

手力雄命

堀田絵美 鬼塚由紀乃

小鼓

飯守富家

大鼓

飯守富家

山本麗晃

今村哲郎

森本一郎

久保誠一郎

井内政徳

地謡

山今森久井 口村本保内 剛一哲誠一 一郎夫郎郎徳

◆追加(故森本司郎を偲んで「東岸居士」の一節) 萬法皆一如なる 実相の門に入るおよ 実相の門に入るおよ

●くらまてんぐ(三分)  
大天狗が現れ、牛若の将来の守護を約束する

●ぬえ(五分)  
鶴の霊が現れ、うつほ舟に押し込められて淀川に流された事を物語る。

●えま(二十五分)  
天照大神が天鈿女命と手力雄命を従え現れ、舞を舞い、宮に入ると、二人の神も舞を舞い、古の天の岩戸隠れのお話を再現する。  
中之舞をシテが、神楽(かぐら)という巫女や女体などが舞う舞の前半を女命が、後半を雄命が舞います。

◆つか  
追善会の最後の曲が、故人を弔う曲でない時、追加して追善の曲の一節を謡う事。今回は「東岸居士」の最後の部分を謡います。  
お客様も口ずさんで頂ければ故司郎も喜ぶかと思います。

長崎

## 長崎くんち直会神事奉能

10月13日(金) 午前10時20分始 会場：諏訪神社奉幣殿  
仕舞「松浦佐用姫」 森本 哲郎 (入場無料)

北九州

## 秋の北九州松涛会

11月11日(土) 午前11時20分始 会場：やはた能舞台  
素謡・舞囃子・仕舞大会 (入場無料)

宗像

## 能楽入門講座 宗像特別講演

11月12日(日) 午後2時始 会場：宗像コッパ ハモホール  
狂言「棒縛」野村 万禄  
能「船弁慶」森本 哲郎 (全席指定 2,500円)

福岡

祝 櫻井神社・高祖神社 国指定重要文化財

## 櫻井神社 能奉納祭

11月23日(祝) 午後6時始 会場：櫻井神社神楽殿  
舞囃子「高砂」久保誠一郎  
狂言「盆山」野村 万禄  
新作能「伊都国さくらい」森本 哲郎 (入場無料)

大阪

## たにまち能

12月3日(日) 午後1時始 会場：山本能楽堂  
能「花筐」森本 哲郎  
能「葛城」前田 和子 (全席自由 5,000円)

福岡

## クリスマス能

12月24日(日) 午後2時始 会場：大濠公園能楽堂  
狂言「隠狸」吉住 講 野村 万禄  
能「百萬」多久島法子(子方)森本英太郎 (全席自由 3,500円)

◆主催

## 福岡松涛会 長崎松涛会

※能を一生の趣味にしてみませんか!

初心者大歓迎!いつでも見学・無料体験できます。

森本能舞台

◆指導

## 森本 哲郎



◆お問い合わせ

森本能舞台 福岡市中央区警固3-8-1

Tel:092-711-8888 または 090-3194-1828(森本携帯)

Fax:092-711-8181

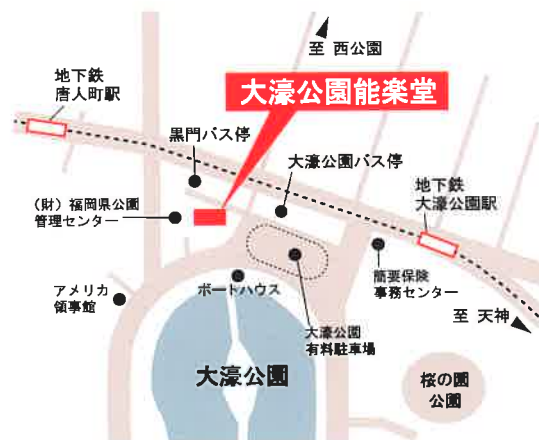
Mail:info@m-nohbutai.com

森本能舞台公式ホームページ <http://m-nohbutai.com/>

HPが  
新しくなりました!



HP



(大濠公園能楽堂へのアクセス)  
○地下鉄「大濠公園」駅(3番出口)より徒歩7分  
○西鉄バス「大濠公園」または「黒門」バス停より徒歩4分

注)能楽堂には駐車場がございません。  
大濠公園内および近隣の有料駐車場をご利用ください。